

留 学 報 告 書

記入日:2017年2月8日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	マレーシア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: マレーシア工科大学 現地言語: university technology malaysia
留学期間	2016年9月～2017年1月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Faculty of Management <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年2月2日
明治大学卒業予定年	2018年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:2月上旬～8月中旬 2学期:9月上旬～1月中旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	25172
創立年	1975

留学費用項目	現地通貨 (リンギット)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため授業料はかかりませんでした。
宿舍費	2250	56250円	月に450リンギットでした。
食費	2250	56250円	1日15リンギットあれば足ります。
図書費	100	2500円	教科書はコピーしていたので安かったです。
学用品費	0	0円	
教養娯楽費	0	0円	
被服費	100	2500円	あまり服は買いませんでした。
医療費	0	0円	保険を使ったので医療費は0でした。
保険費	2533	63330円	形態:プラン②
渡航旅費	4000	100000円	JALを利用しました。
雑費	200	5000円	シーツやタオルを買いました。
その他	4000	100000円	旅費
その他		円	
その他		円	
合計	15433	385825円	

渡航関連

渡航経路:羽田～シンガポール

渡航費用

チケットの種類 JAL オープンチケット

往路 _____

復路 _____

合計 10万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

往復のオープンチケットを取りました。本当は9万円だったのですが、帰りの航空券の日付を変更したため+1万円かかりました。利用したのはDeNAのスカイゲートです。

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

はじめは大学の寮に住んでいて、途中からアパートに引っ越しをしました。

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数2→4)

3) 住居を探した方法:

大学の寮は大学側が指定してきました。アパートは他の留学生に誘われ入居を決めました。

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

最初は日本人と住んでいたのですが、英語を話す気があまりない子だったので引っ越すことを決めました。日本人と住む方が気を使わなくて楽ですが、だらけてしまうので私は他の国の人と住むことをおすすめします。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した: 病院にお世話になりました。

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

クラスの友人、教授、大学のオフィス(大学のオフィスはあてになりませんでした。)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大使館からくるメールをチェックする。持ち物や服装には気をつける。夜は1人で出歩かない。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

現地で携帯を購入したのでそれを使っていました。大学のWi-Fiは月10GBの制限があり、ネット環境は良くはないと感じました。Wi-Fiが使えるカフェなどはほとんどありませんでした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

キャッシュパスポートを利用していました。カードは2枚使っていましたが1枚はスキミングの被害に遭い途中からは1枚だけになりました。月7万円の奨学金を使っていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

DAISOがあるのでほとんどのものは買えます。私は現金を持っていけばよかったと後悔しました。お金をおろすと手数料が多くかかるので、現金を両替した方が楽です。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

利用した機関などは特にありませんが、留学であった人との出会いが私の進路に大きく影響したと思います。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※1~3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

大学職員、公務員(留学生の受け入れや国際化に関わる仕事)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※1~3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学を通して将来やりたいことが具体的になりました。留学に行く前は漠然と学生と関わる仕事がしたいと感じていたのですが、留学中に留学生の受け入れに関わりたいと感じるようになりました。滞在中SPIの勉強は少ししました。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
11 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cross-cultural Psychology	異文化間心理学
科目設置学部・研究科	Faculty of Management
履修期間	2016.9~2017.1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が1回
担当教授	Dr.Akmal
授業内容	異なる民族間での行動や考え方の差を心理学の観点から学ぶ。
試験・課題など	ミニクイズ×2、グループプレゼン&課題、個人課題、期末テスト
感想を自由記入	もともとマレー語開設の授業でした。先生は割とマレー語を使う方だったので、クラスメイトの翻訳に頼っていました。内容よりも学生のプレゼンの方が興味深かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Human Resource Management	人材マネジメント
科目設置学部・研究科	Faculty of Management
履修期間	2016.9~2017.1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が1回
担当教授	Dr.Riza
授業内容	人材の雇用からトレーニングまでの方法を学ぶ。
試験・課題など	ミニクイズ、グループ課題&プレゼン、個人課題、期末テスト
感想を自由記入	内容は 1 番ためになる授業でした。先生がとても面倒見のいい先生で、ついていけない時はマンツーマンで面倒を見てくれました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Development Psychology	発達心理学
科目設置学部・研究科	Faculty of Management
履修期間	2016.9~2017.1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が1回
担当教授	Dr.Norashikin
授業内容	人間が生まれてから死ぬまでの肉体的、精神的成長について学ぶ。
試験・課題など	ミニクイズ×2、ペア課題、個人課題、期末テスト
感想を自由記入	心理学の基礎だから、とって取ったのですが、保健体育の授業の様でした。先生が気さくな方でとても好きな授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Art, Custom, Belief og Malaysia	マレーシアの芸術、伝統、信仰
科目設置学部・研究科	Faculty of Manegement
履修期間	2016.9~2017.1
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が1回
担当教授	Dr.Rozeyta
授業内容	マレーシアの文化について学ぶ
試験・課題など	ミニクイズ、グループプレゼン&課題、期末テスト
感想を自由記入	マレーシアの文化についてたくさん知れて楽しかったです。日曜日に開設している授業だったので休講が多かったです。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2015年 1月~3月	TOEFL の勉強
4月~7月	TOEFL の勉強
8月~9月	TOEFL の勉強
10月~12月	TOEFL の勉強、面接・選考
2016年 1月~3月	オリエンテーション
4月~7月	情報収集、大学への出願、英語の勉強。
8月~9月	出国(ビザの手続きの関係で出国が 2 週間ほど遅れました。)
10月~12月	中間試験、Mid-term break(旅行に行きました)
2017年 1月~3月	期末試験、留学後カンボジアでインターン
4月~7月	
8月~9月	
10月~12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	大学に入る前から留学に憧れており、最初はどこかどこでもいいから留学に行きたいと思っていました。それから大学外の社会人の方と多く知り合い留学の目的なども具体的に、2年次ではなく3年次での留学を決意しました。明治大学でも多くの経験をさせて頂きましたが、留学でしか手に入れることのできない体験やイスラム教に囲まれた生活を求めてマレーシアへの留学を決めました。留学生と関わることの多かった私ですが、自分が留学生になってみたいという思いもありました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力の向上はもちろん、日本のことをしっかりと伝えられるようになることが非常に重要だと感じました。私は浴衣の着付けを2度頼まれたのですが、知らないと言ったら驚かれました。さらにキッチンがあってもなくても日本の料理を作ると頼まれることがあると思います。肉じゃがや親子丼などが作れた方がいいと思います。もう一つは、当たり前のことですが留学先の歴史やその国と日本との関係についてはきちんと勉強してから行くべきだと思います。
この留学先を選んだ理由	最初は違う留学先を志望していました。ですが、もともと留学に行く目的として異文化マネジメントや異文化心理学が学べるところに行きたかったので、同じようなことが学べるマレーシア工科大学を選びました。マレーシアの中でも都会すぎず田舎すぎずのジョホールバルも旅行に行きやすい立地で良かったです。日本人も少なくクラスメイトは全員マレーシア人でした。結果として多国籍国家でこのようなことが学べていい経験になったと思います。
大学・学生の雰囲気	ジョホールバルはイスラム色が非常に強い地域で、敬虔なイスラム教徒が多かったです。大学の休みもマレーシアでも珍しい金曜と土曜日でした。学生は真面目な人が多く、クラスメイトも勉強熱心でした。それでいて留学生の私にもいつも優しくしてくれて親切だなというも思っていました。1日5回お祈りがあつたり学内はマレー料理しかなかったり、イスラム文化を学びたい人にはお勧めだなと感じます。大学はどこか広く、バスか車を持っている友人がいなくて移動はできません。
寮の雰囲気	寮はホットシャワーもエアコンもなく最初は少しきつかったです。私はすぐに引っ越してしまいましたが、寮対抗のスポーツ大会などもあり学生同士の交流が盛んな印象でした。近くにはミニマートや食堂もあり食事をするにも便利な環境だったうえに、キャンパスまではバスで3分、歩いて15分と立地も良かったです。引っ越した先のアパートは学校からは離れていたのですが、エアコンもホットシャワーもあり、ほかの留学生もほとんどそちらのアパートに住んでいました。
交友関係	学部には留学生がいなかったため最初は留学生の友人が全くできずに苦労しましたが、自分から話しかけるなどして少しずつ友人が増えました。逆に現地の友人は、最初のオリエンテーションでたくさんできたのであまり苦労しませんでした。マレー語が全く話せませんが、英語で積極的にコミュニケーションを取ってくれたおかげで友達には恵まれたと思います。サークルなどには所属していませんでしたが、自分次第で友人は作れると感じました。
困ったこと、大変だったこと	1番私が苦労したのは、食事でした。食事が全く合わず一度は胃腸炎にもなりました。病院で辛くて脂っこいマレー料理は食べちゃダメだよと言われ最初は困りました。さらに学内にはマレー料理しかなくバリエーションもほとんどなかったため、1か月を過ぎたあたりに引っ越しをしました。マレーシアは学校を一步出れば多彩な料理を楽しむことができます。なので食事が合わなくても探せば絶対に美味しいものに出会えるのではないのでしょうか。
学習内容・勉強について	私が主に取っていたのは心理学とマネジメントの授業です。もともと留学をしたかった理由がマネジメントと多文化共生について学びたいからだったので、これらの授業を選びました。クラスに留学生が私しかいなかったため、先生も私に気を使って質問を投げかけたりしてくれて非常にありがたかったです。たまに先生がマレー語を話していて困ったりはしましたが、クラスメイトに通訳をお願いして何とか乗り切りました。先生の英語は早かったと思いますが、慣れれば全く問題なかったです。
課題・試験について	課題の量は他の大学に比べれば少ない方だったと思います。1回のレポートも多くて5枚程度で、徹夜で課題をしたこともありませんでした。そのかわりどの授業でもグループ課題が必須で、そちらの方がきつかったです。授業後や休日にクラスメイトと集まってプレゼンの準備をしたりしました。クラスメイトの助けを借りながら全員で1つのプレゼンを作り上げた経験は自分にとって非常に貴重なものとなりました。期末テストはほとんどがエッセイで、少し難しかったように感じました。
大学外の活動について	私は大学外での活動にはあまり参加していませんでしたが、留学の後半からクリスチャンの友人に誘われて教会に通っていました。毎週集まって映画を見たりディスカッションをしたりして、友達も増えて楽しかったです。クリスマス前にはパーティにも参加して、大勢からクリスマスカードをもらって感動しました。大学外での活動に参加するのは少し難しいかもしれませんが、友達が増えれば必ず何か見つかるのではないかと思います。

留学を志す人へ	留学をしたからと言っていきなり英語が話せるようになるわけではないので、英語の勉強は日本でしてから来るべきだと思います。あとは、何かに誘われたら絶対に断らず参加するべきです。留学中ブルーになることも何度かあるだろうし、出かけるのが憂鬱になることもあるかもしれませんが、誘いに乗ることで新たな出会いがあるのは間違いありません。なので、友人を増やすチャンスが来たら絶対にそれを逃さない方がいいと思います。日本では経験できないことがたくさんあるので、なるべくフットワークを軽くしましょう。
---------	--

一週間のスケジュール(例)

				月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中				授業	授業	自習	全休	朝食	全休	朝食
				授業	授業	授業	自由時間	自習	自由時間	自習
午後				昼食	昼食	授業	自由時間	自習	自由時間	昼食
				自習	自習	自習	自由時間	ナイトマーケット	自由時間	授業
夕刻				夕食	ナイトマーケット	夕食	自由時間	ナイトマーケット	自由時間	夕食
夜	自習またはお出かけ	自習	課外活動	自由時間	自習	自由時間		自習		

